

令和7年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 72
ID 603205

【施設状況】

グループ名称	信更公民館												
指定管理者名	信更地区住民自治協議会								法人番号		3700150020765		
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課		副								
構成施設	3304	信更公民館											
	3160	信更公民館高野分室											
施設分類	01	企画型			施設利用者圏域		01	地域施設	利用制適用区分		03	一部利用料金制	
施設概要	講義室 1、和室 1、調理室 1、大会議室 1、図書室 1												
施設設置目的	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。												
基本方針等	地方自治法(第244条)教育基本法(第12条)の理念に基づく公の施設であることを念頭において社会教育法(第20条、第22条)に定める事業を、利用者の安全対策を図り、平等、公平な運営に努める。												
主な実施事業	・各種講座の実施 ・講演会 ・展示会の開催 ・図書等を備えその利用を図る ・貸館事業												

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名		信更地区住民自治協議会			当該指定管理者の 指定回数		3 回	
指定期間		令和5年4月1日 ~ 令和10年3月31日 5年			当該指定管理者の 管理運営開始日		平成27年4月1日	
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。							評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)							3

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年比	評価
	利用者数	人	2,923	2,730	2,588	2,515	97%	
	利用率	%	7.1	5.5	5.4	4.7	87%	
	分室利用者数	人	59	132	137	72	53%	
	分室利用率	%	0.1	0.2	0.8	0.4	50%	
(特記事項) 利用率は、部屋別・3区分(午前・午後・夜)ごとの利用率の総平均(図書室を除く)								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	・信更公民館の利用許可に関する業務 ・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 ・信更公民館の設備及び維持管理に関する業務 ・教育委員会が定める業務 ・信更公民館の利用の許可、不許可及び取り消しに関する業務 ・施設、付属品及び物品の維持管理に関する業務						
	自主事業	提案を求めている						
サービス維持・向上の取組み (広報等)		・公民館報 4回／年 発行(全戸配布)。ホームページの更新により情報発信を行い、公民館活動の広報をした。						

3 利用者評価

利用者評価		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握		(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート (2) 調査、会議等の内容 ・学級講座ごと受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには次に希望する講座内容記載欄を設け、利用者ニーズの把握をした。 ・貸館利用者は、利用簿の欄に要望を記入する欄を設け、利用簿返却時等に聞き取りを実施した。 (3) 調査、会議等の結果 実施した一般講座:42講座(73回) 講座参加者数:延べ2,795人 うち アンケート回答者数423人 満足:86.8% やや満足:10.4% やや不満:2.3% 不満:0.5% (満足、やや満足の合計 97.2%)	4
	利用者からの評価・要望・苦情等		(1) 良好とする評価 ・役に立つ、勉強になった(防災講座、糸魚川の大火に学ぶ、パソコン教室、そば打ち、歴史講座、サクソフォン演奏会)楽しかった(彩色のえんぴつ画、籐かご、シャインカービング、スイーツ、ガーデニング教室、バドミントン、文化講演会、菊の学園)健康に良い(発酵食料理、ポールウォーキング)地域交流が出来た(ホテルの観賞会、文化祭、しめ縄づくり、もちつき体験) ・いつもきれいに清掃・整理されている。 ・明るく丁寧な対応。 ・スマイルボウリング大会では、他の地域の方と交流でき楽しかった。ほとんどの地域からの出場があり、勝者だけでなく敗者復活戦でも楽しめた。 (2) 苦情・改善等の要望事項 <<対応措置>>	

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和7年度)				市の収支				評価		
		年度計画額		収支実績額			令和7年度決算			令和6年度決算(前年度)	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額		項目	金額
	指定事業	利用料金	0	利用料金	0	歳入	使用料	7,510		使用料	4,380
指定管理料		12,931,000	指定管理料	12,931,000	雑(納付金)		2,350	雑(納付金)	0		
委託料		0	委託料	0	行政財産目的外使用料		0	行政財産目的外使用料	0		
販売収入等		0	販売収入等	0	貸付料		0	貸付料	0		
その他収入		46,000	その他収入	47,407	その他		0	その他	0		
					利益配分		0	利益配分	0		
収入計		12,977,000	収入計	12,978,407	計	9,860	計	4,380			
人件費		7,257,000	人件費	7,225,232	歳出	指定管理料	12,931,000	指定管理料	12,890,000		
設備管理費		983,000	設備管理費	965,445		委託料	0	委託料	0		
備品購入費		0	備品購入費	0		需用費	0	需用費	0		
修繕費		100,000	修繕費	97,180		役務費	0	役務費	0		
光熱水費		1,346,000	光熱水費	1,304,878		使用料・賃借料	49,236	使用料・賃借料	49,236		
事業費		1,070,000	事業費	1,146,400		修繕費	434,566	修繕費	0		
事務経費		1,621,000	事務経費	1,591,980		工事請負費	858,000	工事請負費	699,600		
本社経費		0	本社経費	0		備品購入費	0	備品購入費	0		
その他		600,000	その他	589,400		その他	0	その他	0		
支出計		12,977,000	支出計	12,920,515	計	14,272,802	計	13,638,836			
指定事業損益		0	指定事業損益	57,892							
利益配分を除く 指定事業損益	0	利益配分を除く 指定事業損益	57,892								
収入		収入									
自主事業	支出		支出								
	自主事業損益	0	自主事業損益	0							
損益	0		57,892	差引	-14,262,942		-13,634,456				
人件費比率【人件費(賃金等)／令和7年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									55.9%		
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由											

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

管理運営全般	区分	確認内容	チェック欄	評価	
	職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか		☒	3
		配置実績 (うち市内雇用職員数)	館長1人(0人)、主事1人(1人)、事務職員1人(1人)		
		2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
		3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
		4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
	平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		☒	
		2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
	経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		☒	
		2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
	施設・備品の 維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		☒	
		2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか			
	セルフモニ タリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		☒	
2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか					

6 危機管理体制

※ すべて「□」で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、
評価理由欄に理由を記載してください。

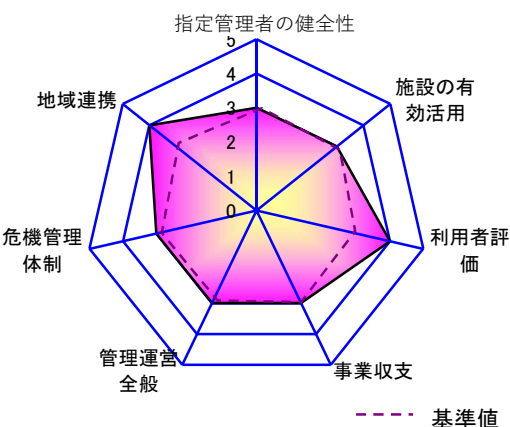
No. 72

危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☒	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☒	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☒	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☒	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	評価			
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	4			
<table border="1"> <tr> <th>協定内容・指定管理者提案</th><th>追加された内容、未実施の内容及びその理由</th></tr> <tr> <td> 1 地域行事に積極的に参加し、住民との連携を図る。 2 地公委員会の事務局として地域公民館の要となり、地域公民館の相談に対応し連携を図る。 3 住自協の他の団体と共催して事業を行い、地域全体と連携を図る。 4 講座の講師は、地元から積極的に採用し、地元の人材を活用する。 5 地域・地元との連携を円滑に行うため、職員は可能な限り地元から採用する。 </td><td></td></tr> </table>		協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	1 地域行事に積極的に参加し、住民との連携を図る。 2 地公委員会の事務局として地域公民館の要となり、地域公民館の相談に対応し連携を図る。 3 住自協の他の団体と共催して事業を行い、地域全体と連携を図る。 4 講座の講師は、地元から積極的に採用し、地元の人材を活用する。 5 地域・地元との連携を円滑に行うため、職員は可能な限り地元から採用する。
協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由			
1 地域行事に積極的に参加し、住民との連携を図る。 2 地公委員会の事務局として地域公民館の要となり、地域公民館の相談に対応し連携を図る。 3 住自協の他の団体と共催して事業を行い、地域全体と連携を図る。 4 講座の講師は、地元から積極的に採用し、地元の人材を活用する。 5 地域・地元との連携を円滑に行うため、職員は可能な限り地元から採用する。				

【総合評価】

評価項目			評価	得点	総合評価	
総合評価	指定管理者の健全性	3	6	合計得点		
	施設の有効活用	3	12			
	利用者評価	4	16	66		
	事業収支	3	6			
	管理運営全般	3	12			
	危機管理体制	3	6			
	地域連携	4	8			
	評価理由	【利用者評価を4とした理由】 ・中山間地と高齢化のため公民館への交通手段が無いという実情に対し、お茶のみサロン等他の行事や会議などの日にあわせて講座を開催し、来館しやすくしている。 ・子どもから高齢者までが参加できるスマイルボウリング大会を企画し、参加者も多く、世代間による交流が好評だった。ことを評価した。 【地域連携を4とした理由】 ・「ホタル観賞会」や「歴史講座」など、地域資源を活用した講座(事業)を実施している。 ・地元の住民や移住者を講座の講師に活用するなど、地域とのつながりを深める取り組みを実施している。ことを評価した。				
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況		改善案等(改善されていない場合)		
次年度の目標・ 取組み等 (施設所管課)	・感染症防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。 ・ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。 ・住民自治協議会との連携を深め、世代間交流とや移住者との交流を推進し、地域住民の繋がりを維持推進する。					

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

1階エアコン故障時の貸館について、エアコンの利用ができる2階大会議室への変更をした。館報(年4回発行)、講座チラシの作成、町内全戸配布。来館者に対して積極的な声がけ、図書室や「講座へのお誘い。職員が情報を共有することにより、住民への対応をスムーズにする。こまめな清掃で安心して公民館を利用いただけた。住自協福祉部会との連携して事業開催し、高齢者来館の足の確保を図った。

② 業務の効率化に対する取組み

職員全員での情報共有による講座運営と利用者との連絡を密にとる。アルコール噴霧器による、会議・集会後の消毒がスムーズに且つふき取りのゴミも出ないので、業務の効率化になった。複合機・印刷機の不具合の早期対応で業務に支障をきたさなかった。

③ その他

○本館GHP故障。1階室外機ガス電磁弁不具合による運転不能により修理。運転停止中夏季に館内1階室内エアコンが使えないため2階大会議室での利用とした。事務室においてはエントランスのエアコンが2階のGHP室外機対応なので、サーキュレーターを購入しエントランスの冷気を事務室へ入れて対応した。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

建物の老朽化に伴い、急な修繕費の増加が見込まれる。高野分室の水道設備が不良の為、飲料水としては使用できないが、調理室利用をして良いのか。受電設備と発動発電機、浄化槽設備は利用者が少なく、浄化機能が著しく低下している。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

地域の高齢化に伴い、今までの事業開催が難しくなってきた。特に球技大会(バレーボール)は運動量が激しく地域でのチーム編成が出来なくなってきたため、地域公民館委員会やスポーツ推進委員と協議を重ねてスマイルボウリング大会を開催することにした。参加チームは18チームと多くのチームの参加があり、チーム編成も子どもからお年寄りまでの混合チームとなり、世代間の交流にもつながり地域の活性化となった。毎年参加者が減少してきていた伝統行事のしめ縄づくりでは、旧更府小学校時代「道具の時間」でしめ縄を学んだお母さんが子どもたちを連れて参加者された。学び舎のなくなった地域でこの様な形で伝承出来た事は良かった。

② 次年度以降の取組み

地域の学びの場(小中学校の閉校)が無くなり、世代間交流が難しくなっていくが、体育祭や伝統行事などを取り入れ多くの地域住民が集える場を作りたい。住自協との協力により行事運営人員を確保し、安心安全な事業を実施する。